

教育広報

県北の教育

発行所

福島県教育庁県北教育事務所
福島市杉妻町5-75
電話 024-521-7723

発行者 村越秀樹
印刷所 (有) 吾妻印刷

秋田の「なまはげ」を体験して



県北教育事務所次長

小野俊雄

昨年来、子どものいじめによる自殺の連鎖が社会に大きな衝撃を与えておりますが、問題の背景には現代社会の事象が複雑に絡み合っており、学校だけでの取組には限界があるように思います。

私たちを取り巻く社会環境が急激に変化する中で、人々の生活様式や価値観も大きく変容し多様化してきました。その変化は、子どもの育成環境にも大きな影響を与えています。家庭における児童虐待や地域における声かけ事案の多発など、子どもを巻き込む事件が後を絶ちませんが、学校においても、いじめや不登校問題など課題が山積しています。家庭、地域、学校...これまで安全と信じられてきた子どもの居場所が次々と脅かされています。こうした事態に、関係者がしっかりと連携しながら英知を結集し、県民の負託に応えていきたいものです。

さて、先頃秋田県の男鹿半島に伝わる国の重要無形民族文化財「なまはげ」を体験しました。男鹿半島の中程に位置する真山伝承館...民家風の茅葺き曲がり屋で演じられるなまはげには、30人ばかりの観光客が脇の板の間で開演を待ちます。居間には囲炉裏があり、神棚を背にした床座にはその屋の主人が二人の孫守りをしながら座っています。案内人から、なまはげの由来や見学の注意事項など一通りの説明が終わると、主役の登場を前にした緊張感からか、辺りに一瞬の静寂が戻ります。やがて戸外から何やら奇声を発する物陰が近づいてきます。鬼面とケラミノを身に纏ったなまはげの登場です。なまはげは、出刃包丁を片手に豪快に門踏みを行い大声を上げながら入ってきます。その形相は凄まじく、観客の度胆を抜くド迫

力でその場を圧倒し、一瞬にして凍らせてしまいます。

「親の言うこと聞かぬ悪い子はいねがあ〜」と叫びながら、そこら中を叩いて廻ります。観客の子どもたちが思わず泣き出すほどの迫力です。主人は、「家の孫は良い孫だ〜お手伝いもするし...」と^{すが}言っており、形相鋭く迫るなまはげから逃れようと必死に縋る孫たちを身を挺して守るのです。

この伝統行事は、古くからこの地方では小正月に行われてきたそうですが、こうしてなまはげを体験しながら育つ子どもたちは、どのように成長していくのでしょうか。この世に怖いものの存在を知り、家族や地域に守られて育つことを記憶に止めながら、親に感謝し家庭や地域を大事にする意識が育まれるのではないかと考えたのでした。

ここには、私たちがこれまで生活の豊かさや便利さを一途に追い求めてきた結果として、遠い昔に失ってきた人間社会のあり様を垣間見る思いがしてなりませんでした。

その後、なまはげは主人から丁寧な酒食のもてなしを受け、最後に「ご馳走になった。まだ来っかんなあ〜良い子にすんだぞ〜」と叫びながら、大手を振って満足げに立ち去るのでした。



平成19年度指導の重点全体構想

「つなぎ」「伸ばし」「かなえる」県北の教育

～ 幼・小・中・高の連携 ～

うつくしま教育改革
推進プログラム
～ふくしまの教育7つの約束～

子どもたち一人一人の“夢”の実現

家庭との連携

地域との連携

「確かな学力」の向上

- ◎ 「確かな学力」の向上を目指すグランドデザインの改善
 - ◇ PDCAを踏まえた柔軟かつ具体的な指標設定
 - ◇ 習熟の程度を踏まえた「発展的・補足的な学習」の設定
- ◎ 「確かな学力」の向上を支える基盤（環境）づくり
 - ◇ 発達段階に応じた聞き方や話し合いの仕方の指導
 - ◇ “わかるサイクル（予習、授業、復習）”の習慣化
 - ・ 家庭学習への計画的な取組
 - ・ 豊かな読書活動の工夫
 - ◆ 幼児の主体的な活動を促す計画的な環境構成
- ◎ 「確かな学力」の向上をめざす授業（保育）の充実
 - ◇ 授業（保育）改善に生かしたいポイント

- 1 指導内容の構造化と重点化
- 2 本時のねらいとまとめの重視
- 3 熟考の場による「読む力、考える力、書く力」等の読解力の育成
- 4 習熟の程度を踏まえた「発展的・補足的な学習」への手だての設定
- 5 基礎的・基本的な内容の定着を図る「習熟の場」の確保
 - ◆ 「言葉をよく聞き、言葉で表現する」指導の重視

- ◇ 互いに磨き、高め合う温かな集団づくりへの配慮
- ◇ 基礎的な指導力（発問、板書、ノート指導、意図的指名等）の向上
- ◆ 幼稚園教諭の専門性の向上

《幼・小・中・高の連携事項》

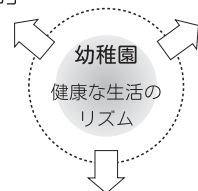
- 1 学習習慣の育成
- 2 読解力の育成
- 3 指導力の向上

- 1 基本的生活習慣の育成
- 2 生命尊重・規範意識・忍耐力の育成
- 3 人と関わる力の育成

- 1 体力の向上
- 2 健康の増進
- 3 危険から身を守る能力の育成

体力の向上と心身の健康の保持増進

- ◎ 体力向上に関する指導の工夫
 - ◇ 「体力づくり推進計画」の作成
 - ◇ 「忍耐力」、「向上心」が伴った体力向上
- ◎ 健康に関する指導の工夫
 - ◇ 「性に関する指導」、「食に関する指導」の実践
 - ◇ 学校保健委員会の活性化
- ◎ 安全に関する指導の工夫
 - ◇ 「ライフスキル」、「危険回避能力」の育成（不審者侵入、声かけ事案、薬物乱用、生活習慣病、出会い系サイト等への対応）



豊かな人間性・社会性の育成

〔信頼関係に基づいた、温かな人間関係の醸成〕
～キャリア教育の視点を生かした取組の充実～

道徳教育の充実

- ◎ 「道徳の時間」の確実な実施と充実
 - ◇ 資料準備、週時程への位置付け
 - ◇ 中心発問の吟味
 - ◇ 本音で話し合う場の設定
 - ◇ 保護者や地域の人々の参加（“開かれた道徳の時間”の実施）
- ◎ 公民科やホームルーム活動を中心とした実践（高等学校）

特別活動の充実

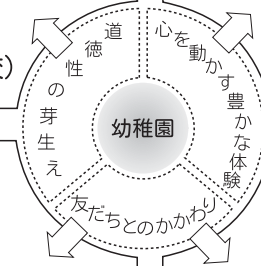
- ◎ 望ましい集団づくりの充実
 - ◇ 自治的・自発的な活動のための話し合い活動
 - ◇ 自己実現を図るための進路指導
 - ◇ 役割分担の明確化と責任遂行への指導
 - ◇ 自然体験や社会体験を通じた地域等との交流

生徒指導の充実

- ◎ 「心の居場所」としての学校づくり
- ◎ いじめの未然防止と迅速な対応
 - ◇ 「いじめ根絶チーム」の立ち上げ
 - ◇ 迅速な事実関係の究明と対応
- ◎ 虐待の早期発見と関係機関との連携
 - ◇ 「発見のためのチェックリスト」による早期発見・通告
- ◎ 不登校の早期改善
 - ◇ 不登校「30・15戦略」の推進
- ◎ 問題行動の未然防止と的確な対応
 - ◇ 家庭、地域社会及び近隣校や関係機関との実効ある連携

特別支援教育の充実

- ◎ 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実
 - ◇ 「個別の指導計画」の作成と活用
 - ◇ 組織的な支援体制に基づく実践
- ◎ 子ども、家庭、地域等との支援体制づくり
 - ◇ 正しい理解の場の設定
 - ◇ 医療、福祉関係機関との連携



福島県教職員研究論文入賞者紹介



福島市立森合小学校 教諭 近野典男
【特選】国語
～自力で説明文を読む力の育成～



福島市立水原小学校 教諭 吉川武彦
【入選】音楽
～音楽の楽しさや美しさにあこがれ、互いのよさや違いを認めながら、音楽的感性を磨き合う子どもの育成～



飯野町立大久保小学校 教諭 齋藤孝之
【入選】特別活動
～「自分もよくて、みんなもいい」心通い合う主体的な学級集団の育成～



二本松市立下太田小学校 教諭 宍戸寛昌
【奨励賞】国語
～確かな読解力の高まりを実感しながら学ぶ子どもの育成～



福島市立鎌田小学校 教諭 高玉美加
【奨励賞】算数
～算数科の基礎・基本を身に付けるための分かる授業づくり～

平成18年度教育文化関係表彰 特別功績者「優秀教職員の部」受賞者紹介



福島市立清明小学校 教諭 森口香代
特別支援教育において、きめ細かな指導計画のもと、適切な指導にあたり、成果をあげている。



福島市立西根中学校 教諭 大木修
キャリア教育の研究推進役として、体験活動を核にしながら啓発、普及に貢献している。



伊達市立堰本小学校 教諭 橋本美枝子
国語科の授業改善や読書活動の充実を図りながら、学力の向上に努めている。



福島県立橋高等学校 教諭 菅野正美
全国トップレベルの合唱団を育て、県内高校音楽教育の発展に多大な貢献をしている。



福島県立盲学校 教諭 金子久雄
スポーツマッサージ等の県内第一人者であり、スポーツによるあん摩等の効果について研究を深めている。



福島県立大笹生養護学校 教諭 山崎康子
保育所等の保護者や担任を対象とした特別支援教育事業を積極的に推進している。

Table with 13 columns: 国語, 社会, 算数, 生活, 音楽, 図工, 体育, 道徳, 特別活動, 学習指導, 学級経営, 計. Row 1: 4, 3, 4, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 2, 1, 20.

総務課

旅費の支給方法が変わります

旅費の支給については、これまで「旅費委任代理人(校長)」に対して一括支給をしてまいりましたが、平成19年2月1日より「個人申出口座」への直接支給となります。

【改善される点】

- ① 現金取扱いが無くなり、事故防止となります。
② 本人が出張や休暇でも、確実に支給できます。
③ 委任代理人や事務担当者の事務軽減となります。
④ 個人ごとの明細により、本人が支給確認できます。

【支給方法】

- ① 本人からの旅費口座振込の申出(変更が生じた場合も同様です)により、個人口座が登録されます。
② 旅行命令書に基づき旅費額が計算され、随時支給手続きがされます。
③ 個人口座への振込手続き完了後に、「旅費支給明細書」が所属に送付されます。
④ 所属の事務担当者から、個人ごとに明細書が渡されます。

生涯学習課



今すぐ、ご利用、ご活用ください

生涯学習課では、事業案内、各種教育についての情報を随時提供しています。ぜひ、県北教育事務所生涯学習課のHPにアクセスしてください。

(http://www.kenpoku-go.fks.ed.jp/)

また、「こんなボランティアが欲しい。」「子どもたちにこんな体験をさせてみたい。」というときには福島県教育委員会社会教育グループのHP「人材検索システム」にアクセスしてみてください。

(http://www.shougai.fks.ed.jp/syakaikyouiku/)

管理課

教職員の交通事故「忘れたところに…」を忘れずに

昨年度の県北域内における教職員交通事故は、異常事態と言える発生状況でした。今年度は、下記のように減少しました。

【平成19年1月17日現在の件数】 ()は前年同時期の比較増減

Table with 4 columns: 加害事故, 被害事故, 速度超過, 合計. Row 1: 14 (-6), 3 (-4), 2 (-6), 19 (-16)

これは、各校で校内服務倫理委員会等を工夫改善してきたことが、成果となって表れたのではないのでしょうか。しかし、次のことが言えるため油断は禁物です。

- 減少したとは言え平成16年度同時期の件数より多い。
○ 被害者に長期療養を強いた事故や致死など、後々まで響く重大事故が多い。
○ 3学期に入り、退勤途中における交差点での事故が続発している。

今後も、「事故ゼロ！」を目指して組織的に安全運転に取り組みしましょう。

インフォメーション ～平成18年度「豊かな人間性と人づくりを目指す教員体験研修」を通して～

学校教育とは環境を異にする中で、顧客や利用者のニーズに基づく業務の進め方や組織運営等を体験する研修が行われています。今回は、「リーダー的教員」としての研修を12月に終えられたお二人の先生を紹介しします。

- 石井小教諭 河野英明 (いちい 福島西店)

「今回の研修を通して、従業員の方々がいかに商品の品質管理を厳しく行い、しかも愛着を持って取り扱っているか、肌で感じる事ができました。」



もやしの品出し

- 清水中教諭 芳賀沼真由美 (さすがや 福島店)

「目標に向かって一人一人が責任を持ち、仕事をする事の大切さを学びました。教師としての専門性を高め、誇りと情熱を持って取り組みたいと思います。」



食事の注文

《表紙カット「天に向って」福島市立福島養護学校 教諭 橋口久子》

